

COVID-19 新規感染者数増加に伴う透析施設での感染対策の徹底について(お願い)

日本透析医会・日本透析医学会・日本腎臓学会  
新型コロナウイルス感染対策合同委員会

委員長 菊地 勘  
副委員長 山川 智之  
副委員長 竜崎 崇和  
副委員長 南学 正臣

平素より当会の運営にご協力いただきありがとうございます。

全国での急速な COVID-19 新規感染者の増加に伴い、透析患者における新規感染者数も急速に増加しております(図)。透析患者においては、7月上旬から中旬にかけて、40代から50代の比較的若い世代の感染者が多い傾向でしたが、下旬になり70代から80代の患者の報告が増加してきております。特に70代～80代の死亡リスクは高率ですので、感染に対する十分な注意が必要です。

現在は、透析患者においても、主要都市を中心に、感染者が報告されておりますが、徐々に全国へ広がると考えられます。

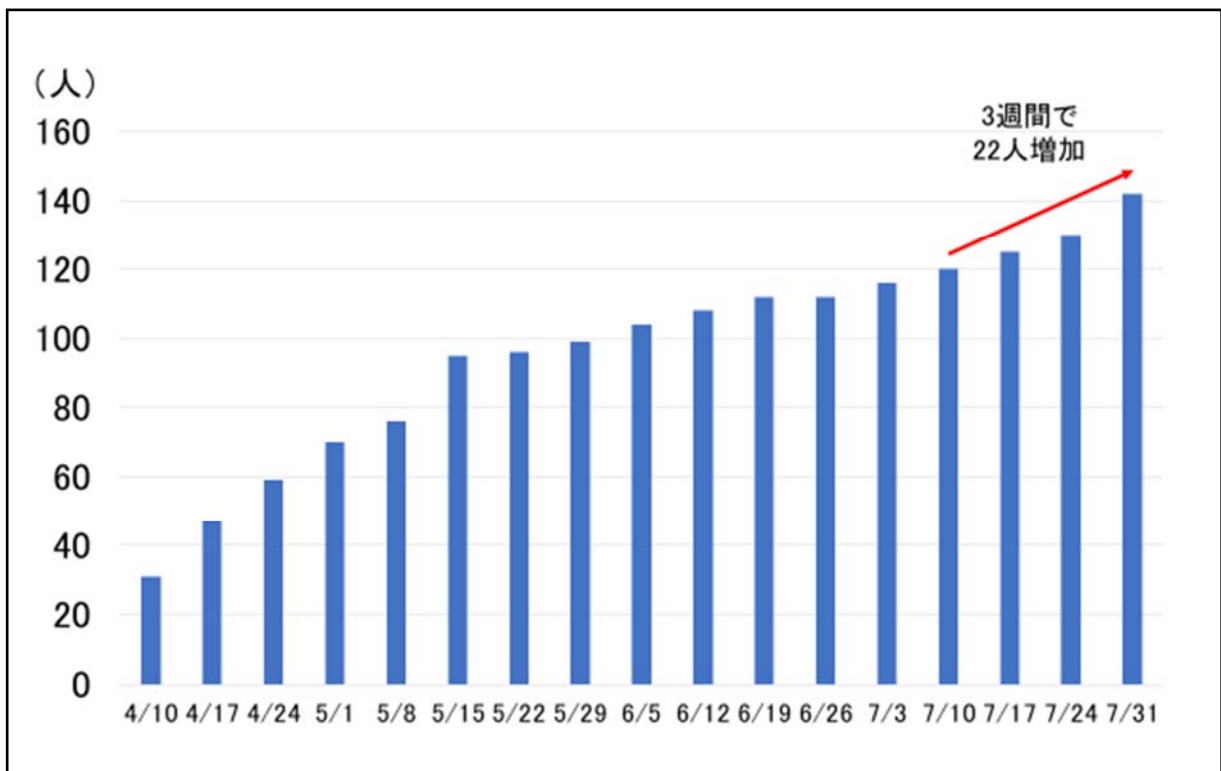


図 透析患者における累積の新型コロナウイルス感染者数

「透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(五訂版)」<sup>引用 URL1)</sup>では、平時より透析施設では穿刺や返血などの手技は、ディスポーザブルガウンまたはプラスチックエプロン、サージカルマスク、ゴーグルあるいはフェイスシールドを着用すること、透析室での器具の清掃および環境表面の消毒には、0.05～0.1%次亜塩素酸ナトリウム、ペルオキソ-硫酸水素カリウム配合剤、アルコール系消毒薬のいずれかを使用すること、が推奨されています。透析室では平時の感染対策を遵守することが、COVID-19 への感染対策にも繋がります。

患者へは、発熱や咳などの症状がある場合は透析施設へ連絡してから来院すること、常時マスクを着用することなどの協力を依頼する必要があります。いまだに緊急事態宣言は発出されておりませんが、感染拡大地域への旅行や感染拡大地域から他地域への旅行など、不要不急の移動は控えるように注意してください。また、日本透析医会が第 1 波の際に作成した注意点<sup>引用 URL2)</sup>をご参照ください。

各施設におかれましては、感染まん延期となる前に、今一度、感染対策の見直しおよび徹底をよろしくお願いいたします。

引用 URL: (令和 2 年 7 月 31 日に確認)

1. 透析施設における標準的な透析操作と感染予防に関するガイドライン(五訂版)  
[http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/07\\_manual/doc/20200430\\_infection%20control\\_guideline.pdf](http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/07_manual/doc/20200430_infection%20control_guideline.pdf)
2. 帰省や旅行など都道府県をまたいだ移動自粛のお願いと透析施設における注意点  
(令和 2 年 4 月 10 日)  
[http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03\\_info/doc/20200410\\_corona\\_virus\\_21.pdf](http://www.touseki-ikai.or.jp/htm/03_info/doc/20200410_corona_virus_21.pdf)